



運動会開催 ～応援ありがとうございました～

9月21日(土)運動会が開催されました。前線の影響から小雨が時折降るあいにくの天気のため、止む無くプログラムを変更しての実施となりました。それでも子どもたちは元気いっぱいこれまでの練習の成果を発揮し、種目に、応援に精一杯取り組んでいました。保護者、地域の皆様にはご多用の中大勢お越しいただき、熱い応援をありがとうございました。また、PTA役員の皆様には、後片付けで多大なるお力添えもいただきました。ありがとうございました。



応援団長による選手宣誓。とても凛々しい姿でした。



1, 2年生の玉入れ。「それ!」「やったあ。入った。」



玉入れの合間にはとても可愛いダンス。チェッチェッチェコリー



3, 4年生の表現。様々な縄跳び運動に魅せられました。



最後の決めポーズもとってもかっこよかったです。



5, 6年生の騎馬帽子取り。最後まで白熱した競技でした。



毎日練習をしてきた男女リレー。バトンをつなぎ精一杯走る姿に、会場から大きな応援が送られていました。



5, 6年生組体操。息と心を合わせた演技に大きな拍手が。この姿に憧れる児童も多くいたのではないのでしょうか。



運動会を盛り上げてくれた応援団。ありがとうございました。



赤白両組、最後まで勝負が尽きません。同点優勝でした。

校長講話から ～いのちをいただく～

今回は、校長先生が「いのちをいただく」というお話を読んでくださいました。

坂本さんは、食肉センターで牛の殺処分を行う仕事をしています。坂本さんはこの仕事を「いやだ」「つらい」「やめたい」と常々感じながら働いていました。息子の茂さんも父親の仕事を格好悪いと感じていましたが、担任の先生から「お父さんが仕事をしないと誰もがお肉を食べられなくなる。すごい仕事をされている」と聞き、父親の仕事を見直します。そんなある日、食肉センターにやってきた牛の「みーちゃん」。みーちゃんに寄り添う女の子の姿を見て、坂本さんは「この仕事はもうやめよう」「明日の仕事は休もう」と思い悩みます。しかし、「お父さん、今日は会社行ってね。」と茂さんから声をかけられ、坂本さんは、辛い気持ちをようやく抑えて会社へ行き、「みーちゃん、ごめんよ。みーちゃんがお肉にならないとたくさんの方が困るんだ。」と語りかけながら、みーちゃんの命を終わらせます。翌日、畜産家のおじいさんが坂本さんへお礼を言いに来ます。昨日、みーちゃんのお肉を少しもらって晩に料理したそうです。女の子は泣いていて食べようとしなかったのですが、おじいさんが、「みーちゃんのおかげで多くの方が助かる。みーちゃん、ありがとうと言って食べてあげないとみーちゃんに悪いぞ。」と言うと、泣きながらそのお肉を食べたようです。その話を聞いて、坂本さんは、「この仕事をもう少し続けていこう。」と考えます。

私たちは、他の命をいただいている。そのことのありがたみを改めて考えました。



